

## 乳房超音波検査

超音波機器

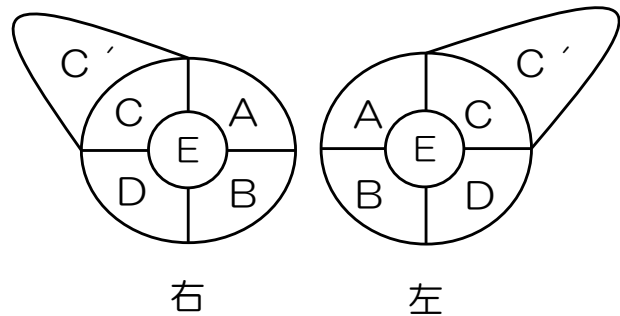


レイアウト例



### ＝ 超音波検査における部位の説明 ＝

超音波検査においてKKCでは以下の  
ように領域の設定をしています。



## KKCの判定及び所見の解説

KKCでは下表に示すように5段階で判定しています。

判 定	解 説
異常所見なし	異常所見を認めず、1年後の健診（ドック）受診でよいもの。
有所見健康	所見は認められるが、その所見に関しては症状がなければ1年後の健診（ドック）受診でよいもの。
要経過観察 (3、6、12ヶ月内再検)	経過観察を要し、3、6、12ヶ月内のいずれかに再検査が必要なもの。
治療中・ 経過観察中	すでに医療機関で治療中、または経過観察中のもの
要精密検査	異常所見を認め、精密検査の必要があるもの、または治療を要するもの。

乳がん以外によく見つかる所見には次のようなものがあります。

所 見	解 説
線維腺腫	割合若い人に多い良性の腫瘍です。手術で取り除くほうが良い場合もあります。
のう胞	乳房の中にできた袋で、液体がたまっています。大きくなると、内部の液体を注射針で抜き取るほうが良い場合もあります。
乳腺症	乳腺内の良性のしこりで、手で触れることもあります。痛んだり、乳首から乳汁が滲み出ることもあります。中年期に多く、性ホルモンのバランスの崩れが原因とされます。